

30年間の出来事



3期生ですので卒業して30年目となります。卒業後は第2口腔外科の研究室に約4年間在籍し、本田武司先生、古本克磨先生に御指導をいただき、その後宮崎県立宮崎病院歯科に4年間在職して昭和63年に大森歯科医院を設立しましたので、開業して早や22年が経ってしまいました。その間に結婚して4人の子供を授かりました。また、開業して3年目の春に長く自分の良き指導者であった父親が他界しました。色々な出来事があり数えればキリがないのですが、今、振り返って考えてみるとすべてがアツという間の出来事の様です。その時はつらくて悲しくてとても大変だと思われた事も今では思い出の一場面となっています。しかし小さな事であっても嬉しかった事、楽しかった事は大きく頭の中に残っています。4人の子供を授かって皆が健康で元気である事、浪人した者もいたけれど3人が希望する大学に入学できて父親として嬉しかった事、友人が結婚して良い家庭を築き、そしてその息子さんが福岡歯科大学に合格して、一緒に喜んだ事、同級生と一緒に温泉旅行に出かけて学生時代の思い出を語り合った事、最近では福岡歯科大学口腔インプラント科の松浦正朗教授の御指導御助力のおかげで、日本口腔インプラント学会の専門医・指導医の資格が取得出来た事など多々あります。学会論文を作成するのに徹夜した事もありましたが、目標が達成できたのは松浦教授のおかげと心より感謝を申し上げます。54歳の中年となりましたが、3期生の同窓の皆様の御健康と御活躍を心よりお祈り申し上げます。

大森歯科インプラントセンター(宮崎県児湯郡)

大森 桂二(3期)

写真上=筆者と近所の子供さん
 写真下=筆者とスタッフ



理念



第6期生として卒業した後、旧第2口腔外科に入局し、外来と病棟を往復しての診療の日々、また、診療後には研究や実験など、思い返せば在籍した6年間は、私自身大きく成長できる糧となりました。それは、もう20数年、四捨五入すると30年近くも前のことです。

お陰様で臨床から遠ざかることなく、小さな夢を抱きつつ借金を背負いながらも天神にて開業することができ

ました。患者さんやスタッフ、その他出会った人達に支えられた20年でした。開業当初は、インプラント等の先端治療を中心にと考えましたが、蓋を開けてみると、来院される患者さんの多くは、歯を削られ、本来の顎位は損なわれ、おまけに不良な清掃状態を呈した方ばかりでした。

天神のような中心地域であれば患者さんのデンタルIQが高く、レベルの高い先端治療が行われていると思っておりました。しかし、当たり前のことも知れませんが、開業する地域に関係なく基本的な保存処置、補綴処置そして口腔衛生指導などがなおざりにされている多くの患者さんを目の前にして、基本的な歯科治療の概念の改善を要することに気づかされたのです。その結果、『天然歯、歯周環境、安定した顎位』の3点を理念に、現在に至ることができました。

この理念を日常臨床で実践し、満足のいく結果を得るには、特に信頼のおける矯正医・歯科医との連携、ディスカッションが大切です。連携治療を行う事で、より患者さんに満足度の高い治療を行う事ができ、その結果患者さんが歯科医療の重要性を再認識する事に繋がります。そしてそれが医院の高い評価と医院と患者さんとの信頼関係を築き、継続的フォローアップへとつながるものと考えます。

最後に歯科界の社会的評価獲得のためには、後輩諸氏に経営環境の悪化に怯むことなく臨床の現場を正面から向き合い、真の意味での改革を期待したいと思います。楽しい人生を過ごす、たまたま選んだ職は歯科医業です。胸をはって言いたいものです。

望月歯科(福岡市)

望月 在秀(6期)

写真上=医院外観
 写真下=写真中央が筆者

